

新規・継続等	新規	分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号	14	事業名	急傾斜地崩壊対策等
市町村名	松本市		ふりがな 箇所名	ありがさき 蟻ヶ崎		事業年度 (完了年度は見込み)	H23年度～ H26年度
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	擁壁工 L=350m 落石防護柵工 L=350m				H22年度末事業 進捗率	0%
	H23年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%
	H23年度実施内容	測量・調査・設計 1式				用地補償費ベース	0%
	年度	全体事業費	H21年度まで	H22年度	H23年度	H23年度以降	
概要	事業費計(千円)	200,000	0	0	14,500	200,000	
	国庫支出金	90,000	0	0	6,525	90,000	
	財源内訳 その他	20,000	0	0	1,450	20,000	
	県債	81,000	0	0	5,000	81,000	
	一般財源	9,000	0	0	1,525	9,000	
箇所評価	観点	評価項目・指標等	評価			部 ランク	政策評価課 ランク
	必要性 (20)	保全対象人家戸数	20戸以上	10～19戸	10戸未満	7	7
		保全対象公共施設数	2箇所以上	1箇所	なし	A 6	A 6
		保全対象に援護者施設があるか	重要施設あり	一般施設あり	なし	2	2
		保全対象に避難所、避難経路があるか	あり	なし		1	1
	小計					16	16
	重要性 (15)	過去の災害履歴	過去10年に1回以上	災害履歴地	なし	8	8
		交通遮断による地域経済などへの影響	大	中	小	A 2	A 2
		防災計画上の位置づけ	位置づけあり	位置づけなし		2	2
	小計					12	12
効率性 (20)	費用対効果(B/C)	B/C3.0以上	B/C1.0以上3.0未満	B/C1.0未満	14	14	
	早期発現度	5年未満	5年～10年未満	10年以上	A 6	A 6	
	小計					20	20
緊急性 (25)	斜面の高さ	30m以上	10m以上30m未満	5m以上10m未満	4	4	
	斜面平均勾配	45°以上	40°以上45°未満	30°以上40°未満	3	3	
	地質状況	崩積土、火山砕屑物、強風化岩	段丘堆積物	軟岩・その他	A 4	A 4	
	斜面形状(オーバーハング、遷急線、谷地形、凸地形)	あり	なし		3	3	
	植生の状況	不良	普通	良好	3	3	
	保全対象の位置	がけ下にある	がけ上にある		5	5	
小計					22	22	
計画 熟度 (20)	地元の協力	用地等の協力が得られる	用地等の協力が概ね得られる	協力が現時点では得られていない	A 7	A 7	
	地域からの要望	高い	それほど高くない		10	10	
	小計					17	17
費用対効果(B/C)		6.19	評価の合計			A 87	A 87
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	最大高さ21mのがけ下に人家10戸、アパート2棟(20戸)、災害時要援護者施設である蟻ヶ崎児童館が保全対象としてある。蟻ヶ崎児童公園は、地元地区の一時避難所に位置づけられている。斜面には表層の小崩落の跡がみられ、児童館裏には自衛措置としての対策が実施されている。					
	地域からの要望経緯	H23.2松本市から要望。					
	事業説明等の経緯	平成20年3月土砂災害防止法の指定にかかわる説明会を実施。					
	環境・景観への配慮項目	特になし。					
	他事業・プロジェクトとの関連	特になし。					
特記事項	蟻ヶ崎児童館及びアパートは、土砂災害特別警戒区域に指定されているため、避難体制の整備および施設の維持管理について、今後の地元説明会で積極的な関与を促したい。						
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他		
部意見	保全対象に人家12戸のほか、災害時要援護者施設がある。斜面には小崩落も見られ、早期に対策を行う必要がある。			政策評価課 意見	必要性、重要性、緊急性が認められる。		